

---

# 東方異世界大戦～外伝～

霧夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方異世界大戦～外伝～

### 【Zコード】

Z3331-Y

### 【作者名】

霧夜

### 【あらすじ】

東方異世界大戦の外伝です。何かあると投稿していくのでこちらの方も合わせてお読みください。

## 井上幽末入隊物語（前書き）

ヤバい。書いてたらすごいグロクなつてしまつた。苦手な方は、絶対に読まない方がいいです。少しほ抑えてあります、絶対に苦手な方は読まない方がいいです。

## 井上幽末入隊物語

それは、ある悪夢のような日の事だった。僕は、民間自警団の自警団員として働いている時の事だった。

「今日も平和だな。」

そんなのんきなことを呴きながら他の自警団員10人と隊長と共にパトロールを行っていた。ライトニア共和国は民主主義国家で経済、治安が安定しているため窃盗やテロという物がなく、生活が苦しい人には支援も出ているので平和であった。あるのは小さなもめごとであり、それを解決するのが民間自警団という組織の任務であった。しかし、この日に限ってあんなことが起きるとはだれが予想できたであろうか・・・。

空から爆音が聞こえてくる。

「なんだ？・・・へ？」

そらを見上げると空を黒く染めるがごとく物凄い大型の航空機が飛んでいた。すると、ものすごい音を立てて黒い粒が落ちてきた。

「絨毯爆撃！？」

爆音を上げて爆弾が地面に直撃し爆発で人が吹き飛び燃えもだえ苦しんでいる。破片が飛び散りそのとがった破片が命中し、血しづきが上がる。そう、他国の宣戦布告なき奇襲である。

目の前に広がる光景は信じがたい物であった。そこらじゅうの家々から火が上がり血まみれの死体や、燃え上がりもだえ苦しみ続ける人。親が死に泣きわめく子供。そう、言い換えるとするなら地獄であつた。

目の前をうつろな目でぶつぶつ言いいながら通り過ぎていく人がいる。聞き取りにくいが聞き取れる単語があつた。

「・・・・・これは夢だ・・・・・そう・・・・・なんだ。」

最後の言葉はよく聞き取れるほどの中になつた。

「早く用覚えないと、今日は大事な会議があるんだ。早く会社に行かないよ。早く・・・。」

最後まで言葉を聞くことはできなかつた。なぜならその人は、井上幽末の田の前で・・・

自ら首を切つてしまつたのだから。

後ろから声が聞こえる。

「井上さん！」

誰かが呼んでいる。ゆっくりと振り返ると、近所に住んでいる高山孝が走つてきた。そして、僕の顔を見た瞬間驚愕の顔を見せた。そう。僕の顔にはさつき田の前で死んでしまつた人の血がついていたからである。

「どうか・・・したの・・・か？」

「・・・あ・・・ああ、実はなお前の家に爆弾が直撃して・・・。

そこまで言つとまた孝が驚愕の顔を見せた。僕は普段泣くことがなかつたから僕が泣いていることにビックリしたのだ。この日を境に僕は人に口を閉ざし、正規軍に入隊し、ある人に出会うことになるのだった。

## 井上幽末入隊物語（後書き）

本編の方では、見ることのできない井上幽末さんです。見てしまつたかた、戦争の悲惨さが分かりましたでしょうか？  
グロイ点への文句は、負いかねます。前書きに注意を書いておきましたので。では。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3331y/>

東方異世界大戦～外伝～

2011年11月8日00時15分発行